

旧草軽電鉄北軽井沢駅舎

当時の姿のまま残されている国登録有形文化財

■■■人々の暮らし■■■

旧北軽井沢駅舎は、新軽井沢から草津温泉間を結んだ草津軽便鉄道(後の草軽電気鉄道株式会社)の約22あった駅のうち、当時の姿を唯一現在まで留めている駅舎です。草津軽便鉄道はスイスの登山鉄道を模して1915(大正4)年に誕生しました。火山活動による硫黄鉱山の硫黄の輸送と、軽井沢・草津という一大観光地を結ぶ乗客輸送のために建設された草軽電鉄の歴史は、火山地域ならではの産業の栄枯盛衰の歴史でもあります。



現在の北軽井沢駅舎



運行当時の様子